

巻頭言

「次世代の商品開発に向けて」
Concept of Next Generation Product

執行役員
開発本部
建機第一開発センタ所長

高村 藤寿
F. Takamura



2007年度から新中期経営計画「Global Teamwork for 15」がスタートしました。この名称にはグローバルなチームワークで世界中のお客様に喜んでいただける商品を提供し、持続的成長を図りながら高い目標を達成するという強い決意が込められています。TIER3世代の新商品が順調に市場導入が進む中で我々技術部門もさらなるレベルアップを図り、次なるTIER4世代の高い目標の商品開発を進めていく必要があります。

ここ数年のTIER3世代の商品開発は同時に「ダントツ商品」の考え方を定着させ、さらに成熟度を高めた開発でもありました。この中からコマツがこれからもダントツ商品を継続的に生み出すためのベースとなる研究開発の方針、考え方、プロセスが確立してきたように思います。

- (1) 開発戦略の基本となるのが「選択と集中」。優先度を明確にし、開発機種、コンポーネント、織込み技術を絞り込んで全体の効率化を追求。
- (2) 主要コンポーネントは自社開発、生産。（エンジン、油圧機器、パワーライン、電子機器）これを強みとして各部門が連携しダントツ性能を擦り合わせて作り込む。
- (3) 品質、コストは生産、開発が同一拠点で一体となって作り込む。
- (4) キーワードは「安全、環境、IT、経済性」に絞り込み。
- (5) 開発プロセスのベースになるのは見える化（Facts Finding）、報連相（関連部門間も含めた報告、連絡、相談）、そしてEarly（問題、課題の早期発見）・Quick（対応策の即断即決）・Fast（素早いアクション）の徹底。

これらはすでに我々の基本動作と成りましたが、次に来るTIER4世代では技術的なハードルも非常に高く、また短期間により多くの同時機種開発が必要な難しい状況を迎えます。これを打破していくには今回の経験を踏まえてもう一度上記項目の徹底を図ると同時に、最新の技術動向をよく知ってさらなるレベルアップ、技術力向上の取り組みを行い我々自身が進化する必要があります。

またこれからの商品開発ではお客様の経費節減とCO₂削減の観点から今まで以上に「燃費低減」が重要なコンセプトになってきます。これに対しては全てのコマツの機械がベクトルを合わせて燃費低減をダントツ項目のトップに掲げ、「コマツの機械は低燃費で環境に優しい安心して使える車である」という評価を定着させていきたいと思っています。

これからも開発部門としてやるべき事は沢山ありますが、方針は明確です。次なるTIER4世代の高い目標の商品開発に向かい、持ち前のチームワークを生かして全員で取り組んでいきましょう。